



狭山市セタの妖精 おりびい

富士見集会所だより

発行日:令和7年12月10日(水)
発行:狭山市立富士見集会所
〒350-1306 狭山市富士見1-1-18
TEL&FAX:04-2959-6230
E-Mail:fujimi-s@city.sayama.saitama.jp

12月号

～みんな笑顔～第6回小学生ふれあい教室「カーレット体験」



11月29日(土)に第6回小学生ふれあい教室「カーレット体験」が行われました。狭山カーレットクラブまぜこぜ代表の堀充さんを講師にお迎えし、はじめに、ユニバーサルスポーツについての説明や簡単な手話講座で、子供たちに様々な人たちが参加できる競技であることをお話していただきました。その後、狭山カーレットクラブの方たちと一緒に実際に

カーレットのゲームを体験しました。「カーレットができて楽しかったし、前より他の子と仲良くなった気がします。大人も子供も、障害がある方もお年寄りも赤ちゃんもいろいろな人が、同じことを協力してできるのはすごいと思いました。また、やってみたいです。」という感想もありました。狭山カーレットクラブの皆さんには、とても楽しくわかりやすく教えていただき、ありがとうございました。



第3回人権セミナー「発達障害と人権」が行われました



11月18日(火)に第3回人権セミナーが「発達障害と人権」をテーマに行われました。今回は、埼玉県発達障害支援センター地域支援担当課長の松原聡子さんに、講師を依頼し、資料をもとに発達障害の基礎知識や特性について話していただきました。また、それぞれの子供への対応についても詳しく説明していただき、たいへん勉強になりました。参加者の皆さんからは「とても丁寧にわかりやすいお話で、発達障害に対する理解が深まった。また、自分の子供に対する接し方や言葉かけに

についても考えるきっかけになり、充実した時間を過ごせた。」などの感想が寄せられました。

第6回ふじみ寿大学「けん玉で介護予防!」

11月27日(木)に開催した第6回ふじみ寿大学は、「けん玉で介護予防!」というテーマで、行われました。参加者全員が、実際にけん玉を手にして、持ち方やけん玉のやり方を教わりました。それぞれが集中して、技の上達を目指して取り組みました。今年度のふじみ寿大学は、今回で最後なので、参加の皆さんに所長から修了証が手渡されました。来年度も、開講予定ですので参加をお待ちしています。



教職員人権研修が行われました

11月26日(水)に、一般社団法人シャルフレーム認定 SOGI プロフェッショナルインストラクター・カウンセラー篠崎すえ氏を講師として教職員人権研修が行われました。この研修会は、狭山市立小中学校の管理職や人権教育担当の教員を対象に、年2回富士見集会所を会場に行われています。今回は、「性の多様性の捉え方と対応について」というテーマで LGBTQ に関する対応方法を知り、子供にとって安心できる教育環境を作るための方法を学ぶことを目的に、人権感覚や人権的实践力を育む教育をどのように進めていけばよいかについてご講演いただきました。各小中学校で今回の研修内容が活かされ、人権教育が一層充実することを願っています。

12月から1月の主な予定

日にち	行事内容
12/4(木)～12/10(水)	人権週間 ※12/10(水)は「人権デー」
12/10(水)	集会所だより12月号発行
12/13(土)	第7回小学生ふれあい教室「絵手紙・閉級式」
12/18(木)	ユニスポを楽しもう!
1/9(金)	集会所だより1月号発行
【休所日】12/15(月)、1/12(祝・月)成人の日、1/19(月) ※12/28(日)から1/4(日)までは、年末年始の休所となります	
【夜間休所日】12/23(月)、令和8年1/6(火)、1/20(火)	

中央図書館で「人権に関する図書展示」を開催しています

12月10日は「人権デー」です。1948年のこの日に「世界人権宣言」が採択されたことから、この日が人権デーと定められました。日本では、この「人権デー」を最終日とする一週間(12月4～10日)を人権週間として、全国各地で集中的に人権啓発活動を行います。富士見集会所では、共催事業として中央図書館において12月27日(土)までの間、「人権に関する図書展示」を行っています。また、「狭山子ども人権標語」の優秀作品も中央図書館・富士見集会所内に掲示しています。人権関係の図書や標語をとおして、この機会に、皆さんも「人権」について考えてみてください。

「小学生人権学習」が行われました

11月20日(木)に富士見小学校、25日(火)に入間川東小学校の5年生を対象に「小学生人権学習」が行われました。この講座は、これからさまざまな人権課題に対応していく小学生が人権について考えるために行われているもので、毎年開催しています。今年度は、富士見集会所社会教育指導員の伊藤が担当し、町の中にあるマークから、様々な立場の人の人権について考えました。参加した児童からは「今日習ったマークを見かけていたけれど、意味が分からなかったのが知ることができてよかったです。これからこのようなマークを見かけたら手助けしたり、自分から声をかけたりして、みんなが安心してすごせるようにしていきたいです」「これからは、まわりの人が何か困っていたら手をさしのべ、少しの変化にも気づいてあげられるそんな人間になりたいです」といった「これから」につながる温かい「気づき」がたくさん生まれた学習となりました。

